

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-096052

(43)Date of publication of application : 12.04.1996

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G06F 15/00

G07D 9/00

(21)Application number : 06-234677

(71)Applicant : HITACHI SOFTWARE ENG CO LTD

(22)Date of filing : 29.09.1994

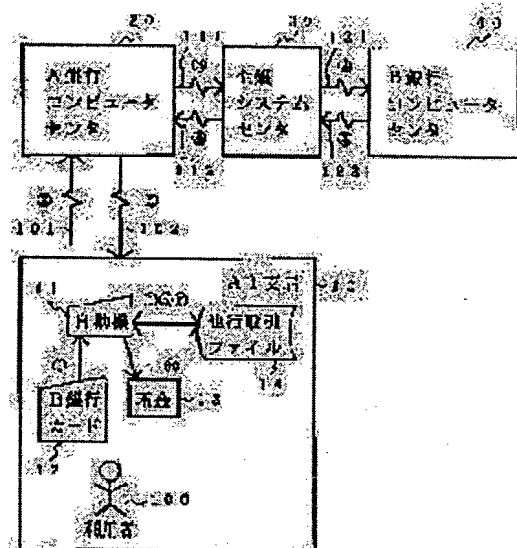
(72)Inventor : SUGIHARA KAZUO

(54) MANAGEMENT METHOD FOR TRANSACTION RESULT WITH OTHER BANK

(57)Abstract:

PURPOSE: To instantaneously show the state of transaction processing with another bank that has been carried out by an automatic machine in an all-bank on-line system to a user without making any inquiry to the original bank of the transaction.

CONSTITUTION: A user 100 puts a B bank card 12 into an automatic machine 11 of an A1 branch 10 of an A bank and designates the payment of cash, for instance. At the same time, the card information and a payment amount are recorded on an other-bank file 14. The payment processing is carried out at a B bank center 40 of an original payer bank via an A bank center 20 and an all-bank center 30. The processing result is sent back to the A1 branch 10 via the centers 30 and 20 and then recorded on the file 14. When the cash 13 is paid through the machine 11, the cash payment result is also recorded on the file 14. When an inquiry is received from the user 100, the contents of the file 14 are shown on the display screen of the machine 11.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

弁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 19/00

15/00

3 1 0 T 9364-5L

G 0 7 D 9/00

4 5 1 A

G 0 6 F 15/ 30

N

A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平6-234677

(22) 出願日

平成6年(1994)9月29日

(71) 出願人 000233055

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

(72) 発明者 杉原 和夫

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社内

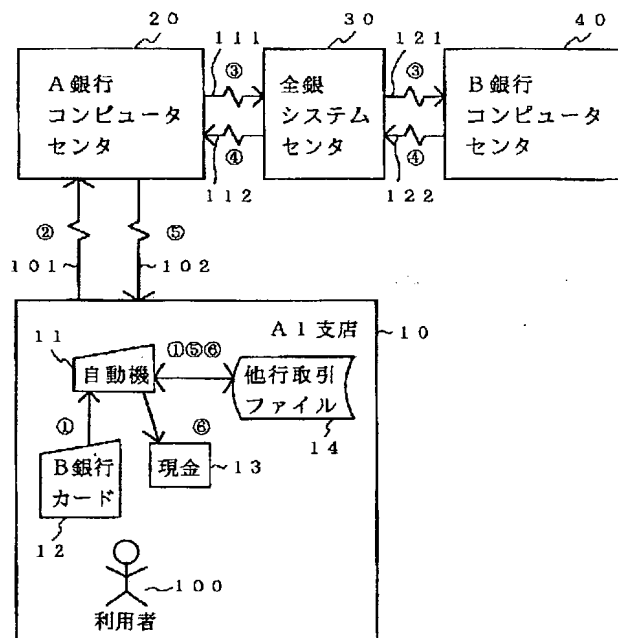
(74) 代理人 弁理士 鈴木 誠

(54) 【発明の名称】 他行取引結果管理方法

(57) 【要約】

【目的】 全銀オンラインシステムで自動機を使用して行った他行取引処理状況を、取引元銀行に問い合わせることなく即座に利用者へ呈示できるようにする。

【構成】 利用者100はA銀行のA1支店10内の自動機11にB銀行カード12を挿入し、例えば現金の払出しを指定する。この時、他行取引ファイル14にカード情報、払出し金額を記録する。払出し処理は、A銀行センタ20、全銀センタ30経由で、払出し元のB銀行センタ40で実施され、処理結果が30、20経由でA1支店10に返信される。この処理結果を他行取引ファイル14に記録する。自動機11から現金13が払出されると、ファイル14に現金払出し結果を記録する。利用者100から問い合わせがある場合、ファイル14の内容を自動機11の表示面に出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 金融機関での自動機を利用した全銀オンラインシステムにおける他行取引結果管理方法であつて、

利用者が自動機を使用して他行の取引を行う場合、取引情報および他行から返信される処理結果をファイルに登録し、

利用者から問い合わせがあると、前記ファイルに登録された取引情報および処理結果を利用者に呈示することの特徴とする他行取引結果管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、銀行等の金融機関での自動機（現金自動取引装置や現金自動預金支払機など）を利用した全銀オンラインシステムに係り、特に他行のカード等を使用した利用者の取引結果を管理する方法に関する。

【0002】

【従来の技術】全銀オンラインシステムでは、利用者が他行提携カード、通帳などを使用して、任意金融機関の自動機による現金の払出し、預入れが可能である。

【0003】この種全銀オンラインシステムにおいて、利用者が他行提携カードを使用して取引する場合の従来の処理の流れを、現金払出し処理を例にして図 5 により説明する。

【0004】図 5 において、10 は A 銀行 A 1 支店、20 は A 銀行コンピュータセンタ、30 は全銀システムセンタ、40 は B 銀行コンピュータセンタである。A 銀行 A 1 支店 10 のキャッシュサービスコーナー等には自動機 11 が設置されている。また、101 と 102 は A 銀行 A 1 支店 10 と A 銀行コンピュータセンタ 20 を結ぶ伝送路、111 と 112 は A 銀行コンピュータセンタ 20 と全銀システムセンタ 30 を結ぶ伝送路、121 と 122 は全銀システムセンタ 30 と B 銀行コンピュータセンタ 40 を結ぶ伝送路である。

【0005】以下に、A 銀行 A 1 支店 10 にいる利用者 100 が、B 銀行カード 12 を使用して払出しを行ったときの処理の概要を示す。なお、図 5 中の①～⑥は以下のシステムの動作順序に対応する。

【0006】① 利用者 100 が、A 銀行 A 1 支店 10 で B 銀行カード 12 を自動機 11 に挿入し、払出し金額を入力する。

② A 銀行 A 1 支店 10 から取引情報（カード情報、払出し情報）を伝送路 101 を使用して A 銀行コンピュータセンタ 20 へ伝送する。

③ A 銀行コンピュータセンタ 20 から伝送路 111 を使用して全銀システムセンタ 30 へ取引情報を伝送し、全銀システムセンタ 30 から伝送路 121 を使用して B 銀行コンピュータセンタ 40 へ該取引情報を伝送し、B 銀行コンピュータセンタ 40 で払出し処理を行う。

④ B 銀行コンピュータセンタ 40 から伝送路 122 を使用して全銀システムセンタ 30 へ処理結果を伝送し、全銀システムセンタ 30 から伝送路 112 を使用して A 銀行コンピュータセンタ 20 へ処理結果を伝送する。

⑤ A 銀行コンピュータセンタ 20 から伝送路 102 を使用して A 銀行 A 1 支店 10 へ処理結果を伝送する。

⑥ 処理結果が正常なら自動機 11 から現金 13 を払出す。

【0007】このように、従来は他行のカード等を使用した利用者の払出しの場合、払出し先銀行（図 5 では A 銀行）では取引情報の管理は行っていない。これは、他行のカードを使用した利用者の預入れ処理の場合も同様である。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】従来の金融機関での自動機を利用した全銀オンラインシステムにおいては、他行のカードを使用した利用者の取引結果を管理することについて配慮されていないため、トラブル発生時は、利用者が使用したカードの発行銀行に処理結果を直接問い合わせなければならないという問題があった。

【0009】例えば、図 5 において、B 銀行コンピュータセンタ 40 で払出し処理完了後、自動機 11 自体のトラブル（現金切れ、伝票切れ等）以外で、自動機 11 から現金 13 が払出されなかった場合、利用者 100 が A 銀行 A 1 支店 10 へ問い合わせても、A 銀行 A 1 支店 10 では、B 銀行コンピュータセンタ 40 での払出し処理が完了したかどうか分からないのが一般的で、利用者 100 が電話等で直接 B 銀行に問合せなければならなかった。

【0010】本発明の目的は、全銀オンラインシステムにおいて、自動機を使用した他行提携カード等による取引の場合の上記の如き問題点を解決することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明では、利用者が自動機を使用して他行の取引を行う場合、取引情報および他行から返信される処理結果をファイル（以下、他行取引ファイルという）に登録し、利用者から問い合わせがあると、前記ファイルに登録された取引情報および処理結果を利用者に呈示することの特徴とする。

【0012】

【作用】利用者が自動機を使用して、他行カードによる払出しの取引データを入力したとする。このとき、他行取引ファイルにカード情報や払出し金額などの取引データを記録する。全銀オンラインシステムは、全銀システムセンタを通して払出し元銀行で払出し処理を行う。この払出し元銀行から返信された処理結果を他行取引ファイルに記録し、自動機から現金を払出す。現金払出し完了後、他行取引ファイルに現金払出し完了を記録する。この他行取引ファイルの内容は、利用者からの問い合わせ

で読み出され、自動機の表示面などに表示される。

【0013】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面により説明する。

【0014】図1は本発明を説明するための全銀オンラインシステムの構成例を示したものである。図1において、A銀行（払出し先銀行）のA1支店10、A銀行コンピュータセンタ20、全銀システムセンタ30、B銀行（払出し元銀行）コンピュータセンタ40などは、図5と同様である。14は本発明で追加された他行取引ファイルである。

【0015】図2に、他行取引ファイル14のレコード内容の一例を示す。即ち、他行取引ファイルの1レコードは、項目名として「銀行コード」、「支店コード」、「科目コード」、「口座番号」、「払出し金額」、「預入れ金額」、「処理結果」、「現金払出し結果」、「現金預入れ結果」などから構成されている。

【0016】図3は、図1の構成による他行携帯カード払出し処理フローの概要を示したものである。以下に図5の場合と同様に、A銀行A1支店10にいる利用者100が、B銀行カード12を使用した払出しを行ったときの処理の流れを説明する。なお、図1中の①～⑥は以下のシステムの動作順序に対応する。

【0017】① 利用者100が、A銀行A1支店10でB銀行カード12を自動機11に挿入し（ステップ301）、払出し金額を入力する（ステップ302）。この時、A1支店10のコンピュータは、自銀行コードとカード情報の銀行コードとを比較し、一致しない場合、他行カードを使用した取引と判断して、他行取引ファイル14にカード情報と払出し金額を記録する（ステップ303）。図2の例の場合、銀行コード、支店コード、科目コード、口座番号のカード情報及び払出し金額が記録される。

【0018】② A銀行A1支店10から取引情報（銀行コード、支店コード、科目コード、口座番号、払出し金額など）を伝送路101を使用してA銀行コンピュータセンタ20へ伝送する。

【0019】③ A銀行コンピュータセンタ20から伝送路111を使用して全銀システムセンタ30へ取引情報を伝送し、全銀システムセンタ30から伝送路121を使用してB銀行コンピュータセンタ40へ取引情報を伝送し、B銀行コンピュータセンタ40で払出し処理を行う（ステップ304）。即ち、B銀行コンピュータセンタ40は、送られてきた取引情報にもとづいて当該利用者の元帳を更新する。

【0020】④ B銀行コンピュータセンタ40から伝送路122を使用して全銀システムセンタ30へ処理結果を伝送し、全銀システムセンタ30から伝送路112を使用してA銀行コンピュータセンタ20へ処理結果を伝送する。

【0021】⑤ A銀行コンピュータセンタ20から伝送路102を使用してA銀行A1支店10へ処理結果を伝送し、該A1支店10のコンピュータは、自銀行コードと処理結果情報中の銀行コードとを比較し、一致しないということで、他行取引ファイル14の該当レコードに処理結果を記録する（ステップ305）。図2の例の場合、取引処理結果の欄が処理結果情報にもとづいて「OK」あるいは「NG」、「NG」の場合は、さらに「残高不足」、「取引停止中」などが記録される。

10 【0022】⑥ 処理結果が正常なら、自動機11から現金13を払出し（ステップ306）、他行取引ファイル14の該当レコードに現金払出し結果を記録する（ステップ303）。図2の例の場合、現金払出し結果の欄に「OK」が記録される。なお、自動機11の故障などで現金の払出しが出来なかった場合は、現金払出し結果の欄には「NG」が記録される。

【0023】以上、利用者が他行のカードを使用して現金の払出しを行ったときの処理の流れを説明したが、他行のカードを使用して現金の預入れを行う場合の処理の流れも基本的に同様である。ただし、現金預入れの場合、カード挿入時、現金も入力されるため、図3のステップ303の他行取引ファイル更新において、他行取引ファイル14に、カード情報（銀行コード、支店コード、科目コード、口座番号など）と預入れ金額を記録するのに加えて、現金預入れ結果（OKかNGか）も記録し、ステップ307の他行取引ファイル更新では何もしないようにすればよい。

30 【0024】図4に、利用者からの問い合わせによる他行取引ファイル読出し処理フローの概要を示す。利用者100は、例えば自動機11から現金が払出されなかった場合や自動機11に現金が入力されたまま取引停止となった場合、取引で使用したB銀行カード12を自動機11に挿入し（ステップ401）、自動機11上の取引照会キーを押下する（ステップ402）。A銀行A1支店10のコンピュータは、自銀行コードとカード情報の銀行コードとを比較し、一致しない場合、他行取引ファイル14を検索する（ステップ403）。そして、他行取引ファイル14より、カード情報に対応するレコード内容を読み出し（ステップ403）、自動機11上の表示面に表示する（ステップ405）。

40 【0025】利用者100は、自動機11の表示面を見て、例えば他行カード12による払出しで、自動機11から現金13が払出されない場合、表示内容が取引処理結果「OK」、現金払出し結果「NG」を示していれば、少なくともB銀行コンピュータセンタ40では払出し処理が完了しているケースであり、この場合はほぼ自動機11自体のトラブルと把握できる。また、取引処理結果「NG」であれば、B銀行コンピュータセンタ40での払出し処理が未完であり、この場合は同時に表示される理由1～3により、払出し処理未完の理由を把握で

きる。同様に、他行のカードを使用して現金の預入れを行った場合も、取引処理結果や現金預入れ結果の表示内容により、B銀行コンピュータセンタ40での入金処理が完了しているか否か、自動機11自体のトラブルか否かなどが即座に把握できる。

【0026】なお、他行取引ファイル14のレコード内容の削去(クリア)は、例えば次のように実施すればよい。

(1) 取引が正常に終了した場合は、その時点で当該レコードを消去し、正常に終了しない場合のみ、利用者から照会(問い合わせ)があるまで保持し、照会が終了した時点で消去する。これは、取引が正常に終了しない場合は利用者から即座に照会があり、取引が正常に終了した場合は、利用者からの照会はないだろうという考えに立つものである。

【0027】(2) 取引が正常に終了した場合は、その時点で当該レコードを消去し、正常に終了しない場合は一定期間(当日、1週間等)保持し、その期間内に利用者からの照会があればその時点で消去し、一定期間経過しても利用者からの照会がなければ消去する。即ち、一定期間経過しても利用者からの照会がないということは、利用者が直接、カード発行元銀行へ問い合わせただろうと見做し、当該レコードを消去するのである。

【0028】(3) 取引が正常に終了するしないに関係なく、一定期間保持し、該期間経過したなら消去する。これは、取引が正常に終了した場合にも、利用者からの照会に対処できるようにするものである。

【0029】以上、本発明の実施例を説明したが、本発明はこれに限られるものではない。例えば、図1では、他行取引ファイル14を銀行の支店(各支店コンピュータ)に備える実施例を示したが、これは銀行のコンピュータセンタに備えて一括管理することでもよい。また、

利用者の他行取引きの形態としてはカードの他に通帳、あるいは、利用者が自動機から取引情報を直接キー入力することでもよい。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、自動機を利用した全銀オンラインシステムにおいて、他行提携カード等による取引処理の状況が、利用者が自動機を利用した銀行のファイル(他行取引ファイル)に管理されているので、トラブルの発生時、利用者からの問い合わせに自動的に回答でき、利用者は取引元銀行に直接問い合わせる必要がなく、また、銀行員の作業の省力化も図れる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を説明するための全銀オンラインシステムの構成例を示す図である。

【図2】本発明による他行取引ファイルのレコード内容の一例を示す図である。

【図3】本発明による他行提携カード払出し処理フローを示す図である。

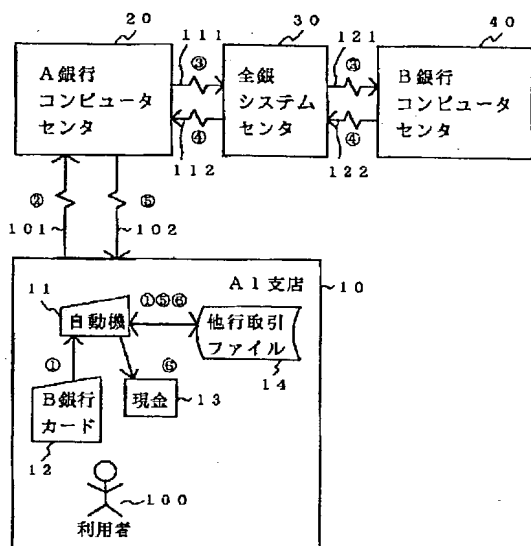
【図4】本発明による他行取引ファイルの読出し処理フローを示す図である。

【図5】従来の他行提携カード払出し処理を説明するための全銀オンラインシステムの構成例を示す図である。

【符号の説明】

- 100 利用者
- 10 A銀行A1支店
- 11 自動機
- 14 他行取引ファイル
- 20 A銀行コンピュータセンタ
- 30 全銀システムセンタ
- 40 B銀行コンピュータセンタ

【図1】

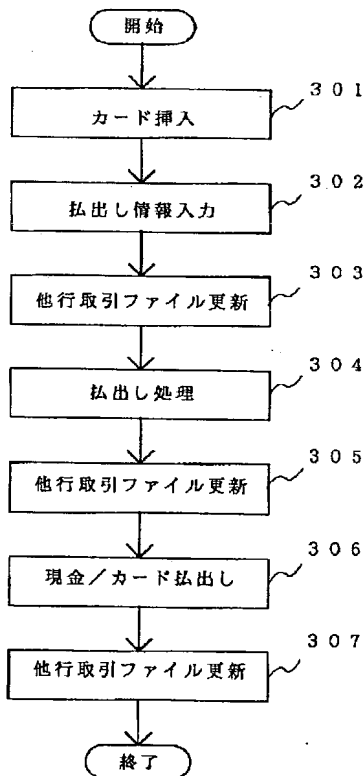


【図2】

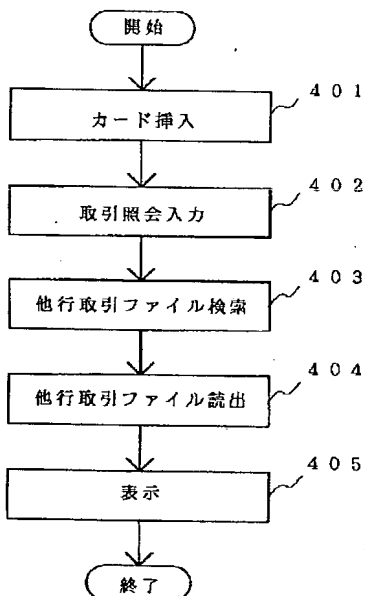
他行取引ファイルを構成するレコード内容

項 目 内 容	
銀行コード	037
支店コード	192
科目コード	1
口座番号	1173472
払出し金額	250000
預入れ金額	
取引処理結果	OK
	NG 理由1: 残高不足 理由2: 取引停止中 理由3: その他
現金払出し結果	OK
	NG
現金預入れ結果	OK
	NG

【図3】



【図4】



【図5】

